

授業評価報告

美術教育講座 稲次保夫

1、授業の概要

この授業は、芸術文化課程（音楽文化コース・造形芸術コース）1回生対象の授業である。今年度の受講者は、音楽文化コース10名、造形芸術コース11名、計21名だった。授業では、はじめに、グループワークをもとに音楽・美術・その他の芸術について皆で話し合った。引き続き、『美と芸術の理論』というテキストをもとに、私たちが芸術について考える際、その出発点となるようなもっとも基本的な問題について考察した。その後、受講者がそれぞれ関心のある作品について発表をし、それをもとに皆で質問やコメント・感想などを出し合った。適宜、OHCやパソコン、DVDなどの視聴覚機器を活用した。

2、授業の目標と留意点

この授業では、芸術に関するさまざまな事柄について、自分自身で考える態度と力を身につけることが目的である。今年度は、具体的な達成目標として、以下の（ア）～（オ）を設定した。

- （ア）自分が感じたこと・考えたことを、書いたり話したりすることができる。
- （イ）作品を見たり聴いたりしたときの感じ・印象を、作品の造形的・音楽的な特徴と結びつけて説明することができる。
- （ウ）他の人が話すことをよく聴き、さまざまな見方や感じ方があることに気づくとともに、それを理解しようとする。
- （エ）自ら問題を見出し、自ら考えることができる。
- （オ）芸術の世界を楽しむ。

授業担当者が留意した点は、講義形式の授業では、専門用語を使わない分かり易い説明であり、発表形式の授業では、担当者の発言をできるだけ少なくし、発表者⇄受講者あるいは受講者⇄受講者の活発なやりとりを期して待つことである。

3、授業アンケートとその回答

授業アンケートは、（Ⅰ）四段階評価のもの（Ⅱ）記述式のものとした。

（Ⅰ）四段階評価のものでは、後記「DPと対応づけた授業評価調査」にならって、この授業が、前記（ア）～（オ）の目標に、どの程度対応していたかを問うた。受講者21名のうち19名から回答を得た。回答は、以下のとおり。

	①	②	③	④
目標（ア）	0	0	3	16
目標（イ）	0	1	8	10
目標（ウ）	0	1	5	13
目標（エ）	0	2	13	4
目標（オ）	0	0	1	18

①対応していなかった、②どちらかという対応していなかった、③どちらかという対応していた、④対応していた。

（Ⅱ）記述式のものでは、（i）この授業で、印象に残った点をあげてください、（ii）この授業で良かったと思う点・良くなかったと思う点をあげてください、（iii）この授業でここをこうすればよいと思う点を具体的にあげてください、（iv）その他、この授業についての感想・意見など何でも自由に記してください、などの記述を求めた。以下に、（Ⅱ）の回答を、原文のまま列挙する。

（i）

- ・自分が紹介したいことを、パソコンやDVD、本など様々なツールを使って自由に発表できたこと。
- ・さまざまな人のお気に入りの作品を見れて、感動を共有できたと思う
- ・改めて、自分の専攻する芸術分野を見つめ直すことができていたと感じる。

- ・私たちの知識でも、音楽と美術それぞれ共通することがあるということが分かる授業になったのが良かった。

(ii)

- ・自由な発表形式で、自分のスタイルに合わせた発表ができた
- ・音楽だけでなく、美術など幅広い知識を取得でき、音楽と美術の関係性をより深く感じることができた
- ・みんなで授業をつくりあげる感じは良かったと思う。
- ・楽しく授業がうけられた
- ・音楽や DVD を流す人の中に、説明が足りない人がいる点が良くなかったのではないか
- ・他の人が発表しているときに話をしているのが気になった

(iii)

- ・特にないです。今のままで良いです
- ・発表時間（各自の持ち時間）を明確にしたほうが、プレゼンの練習にもなるし、より内容をまとめようという意識が生まれると思う。
- ・一番最初の発表は、もっと早く進めても良かったのでは・・・と思います
- ・発表時間があいまいだったので、1人30分または20分など、きちっと計ると平等だと思いました。

(iv)

- ・芸術について改めて考える、とてもいい機会だった
- ・全体的に楽しかったです。同じ分野にしても別の分野にしても、自分の知らなかったことを知れ、有意義でした。
- ・他人の「芸術とは？」という思考が聞けて、新鮮でおもしろかった。
- ・アットホームな雰囲気がとてもよかったです。
- ・私たちで自由に授業の雰囲気を作り出すことができて、楽しかった。
- ・他の授業より自主性が必要だったように思う。
- ・発表は大変だったけど、準備するのも聞くのもたのしかったです。

- ・発表することに対して、先生が色々と調べてくれていたこと、少し驚き、うれしかったです
- ・芸術について真剣に考えることができて、ますます興味がわいてきました
- ・「芸術」のとらえ方が少し深くなれたと思います
- ・世界観が広がったと思います
- ・ちょっと教室がせまいかもです

4、今後の課題

授業アンケート（I）四段階評価の回答を見る限りでは、授業は（ア）～（オ）の目標にほぼ対応したものとなっているようである。ただ、授業の展開の中で担当者が感じたことは、目標の（イ）の達成度が十分でないということである。作品から受ける感じ・印象を、作品がもつ形と結びつけて語るのは、受講生にとって大変難しいようである。担当者は、受講者が発する言葉と作品の形とを媒介する役割を果たすように努力しているのだが、まだ足りないようである。

（II）の記述式の回答では、「発表時間」のことを指摘したものが複数あった。今後の課題としたい。

なお、この授業が、芸術文化課程のディプロマ・ポリシー（卒業時の到達目標）とどの程度対応していたかを問う「DP と対応づけた授業評価調査」の結果は、以下のとおり。

	①	②	③	④
DP 1	0	0	8	11
DP 2	0	0	7	12
DP 3	0	4	11	4
DP 4	0	1	7	11
DP 5	0	2	6	11

DP 1：知識・理解、DP 2：思考・判断、DP 3：技能・表現、DP 4：関心・意欲、DP 5：態度